

ふれあい

平成21年 5月 第278号

大代地区コミュニティー推進協議会
(編集部)

事務局：大代地区公民館

☎364-8442

〈掲載目次〉

- 総会終わって・・・・・・・・・・ 1
- 通学路・・・・・・・・・・ 2
- 街にあかりを有難う・・・・・・・・ 2
- 多賀城市消防団第六分団だより・・ 2
- ご挨拶・・・・・・・・・・ 3

- 貞山運河周辺清掃のお知らせ・・ 3
- 大代地区人口・・・・・・・・・・ 3
- 大代の歩み(十四)・・・・・・・・ 4
- ふれあい短歌・・・・・・・・・・ 4
- ふれあい俳句・・・・・・・・・・ 4

総会終わって

大代東町内会 三浦 徳男

毎年四、五月は、総会が多く開催される月で、この時期には一度や二度総会に出席される方が多いのではないのでしょうか。

東区では毎年四月第一日曜日を総会と決めています。今年度は四月五日に開催しました。前日午前に公民館の印刷機を借りて印刷、午後に役員で世帯数分を製本し班別に分け会場づくりして明日の総会の準備が終わるのです。

今年度は例年になく議案の多い総会となりました。前年度の事業、決算報告、今年度の事業計画、予算案の他、集会所管理規則に基づく、利用状況と管理費決算と予算は例年どおり。東区が南区との分

区をした平成六年四月発足した時の会則を、初めて改正し顧問をおくことにしました。又、平成十七年四月に発足の自主防災組織会規約の改正では、「会長は町内会会長があたる」を、「会長は総会で選任する」に改めたのです。これは発足時にも議論をしたことですが、町内会会長は区長の職にある者であるとしていることから、万が一に災害が発生した場合は、区長は行政や消防の連絡調整が必要であろうし、会長は町内の被害の把握

等の任務でいっぱいであろう。一人三役を務めることは大変な任務となるし難しさから、会長を別に行うことにしました。それに昨年、宝くじ助成金の補助申請で、集会所にテレビ、机二十ヶ、イス四十脚を購入することが出来たことから、今までは備品台帳を備えていたものの今回備品管理規程を整備し、備品の適正な管理とすることにしたのです。

それに加え役員改選もあり、顧問には学識者三名の方に顧問をお願いしました。第九号議案と多くなった今年、名議長の采配と進行のもと、出席者のご理解により原案どおり承認され無事に終了することが出来ました。

前会長さん始め、役員、各班の新旧の班長さん方に厚く御礼申しあげます。

今時総会において、全区長佐藤捷逸氏から三浦徳男に変わりました。これから微力ですが、一生懸命務めますので、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

コミュニティー総会日程

平成二十一年 五月十二日(火曜日)

午後六時三十分から

大代地区公民館会議室

通学路

大代南 高校一年 成田 亘亨

私にとって通学路は、とても思い出のある場所です。毎日学校へ行くために通る道は、私が日々成長しているのに昔とあまり変わらぬ私を送り出してくれました。私が思い出に残っているのは、初めて中学校に行った時のことです。緊張して歩いたこの道、とても懐かしく思えます。

いつも何気なく通ってきた道ですが、改めて振り返ってみると、たくさんの思い出がありました。通学路に一言「ありがとう」と言いたいです。

○昨年東豊中で生徒達に通学路について作文をつのつた中で、優秀作品の一編を紹介いたします。

街にあかりを有難う

大代南 星 繁子

“時はめぐり又夏が来て”と宗さんの歌が頭をよぎります。我が街大代にも時はめぐり春がやって来て今は桜も散り二年度の総会があつちこつちで行われ新年度がスタートしています。希望に胸をふくらませた各校の新生も我が家の前を通ります。この子ども達に幸あれと心

から思う昨今です。さて、我が町の街路燈についてですが、今まで長い間夜を照らし続けその運営に当たっていた大代商店会の解散により一時は真つ暗な夜が続いておりましたが、改めて商店会の皆さんの働きやこれを支えた共賛者の人達に感謝し有難うと申し上げたいと思えます。そして新たに伊藤前議員様の働きにより結成された街路燈組合の皆様の手で再び明るい街が戻ってきました。それから一年も過ぎ夕方遅く帰る学生、労者や一般市民の安全が守られております。一人では生きられません。多数の人々の係わり合い、協力により生きていますですね。伊藤会長様（街路燈組合会長）はじめスタッフの方々行政の方々これを支える共賛者（年会費一万を納入しています）の方々一年有難う御座いました。又本年度もよろしくお願い致します。

多賀城市消防団

第六分団だより

第六分団長 伊藤 勲

日ごとに若葉の色も増す今日この頃大代地域の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。日頃の消防団活動に對して指導、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

四月十日の正副分団長会議において二十一年度の活動事業計画も決定し六分団員二十一名も、定期訓練、災害出動等地域の安全安心確保のため今年度も団員一致団結し諸団体との連携の元努めてまいりたいと思っております。

主な訓練事業内容としては、六月四日・五日の新団員、幹部研修。六月十日よりは、ポンプ操法、規律訓練。六月十二日県民防災日における無線訓練。六月二十一日多賀城市消防団演習。八月九日火災御訓練等が八幡小学校校庭にて開催。八月二十三日塩釜地区消防団連合演習が利府町多目的グラウンドで開催。九月二十七日には、第二回目の火災御訓練。十月一日幹部移動研修（秋田県男鹿市）十一月九日から十五日までの秋の火災予防運動。十一月末日地域内家庭防火巡回診断。今年度は、西区北区を予定しております。

二十二年度一月三日出初式が市役所前にて挙行。その後当分団新年懇親会を開催。三月一日から七日まで、春の火災予防運動広報を予定しております。

又、昨年八月一日付で井山誠さん（南区）今年五月一日付で庄子敏春さん（東区）の頼もしいお二人の新入団がございました。ご活躍をご期待申し上げます。

今年度も地域の安全、安心を守るため
 団員一同訓練に励みつつ活動して参りま
 すので皆さまよりのご指導、ご協力の程
 よろしくお願い申し上げます。

(全国統一防火標語)

「火のしまつ

君がしなくて

誰がする」

(塩釜地区統一防火標語)

「火あそびは

やっちゃいけない

やらせない」

ご挨拶

大代地区公民館長 角田 三雄

四月の人事異動により、大代地区公民
 館勤務を命じられ着任しました角田(か
 くだ)と申します。前任の沖井前館長同
 様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

異動前は、市役所の収納課で税金の徴
 収業務を担当しておりました。市役所に
 入り三十年になりますが、スタートも公
 民館でした。途中、社会教育主事の資
 格を取得したこともあり、若い時は、総
 合体育館や中央公民館、また、4年前ま
 での2年間は市立図書館に勤務するなど

種々の社会教育施設を経験いたしました。
 今回、4年振りの施設勤務となるわ
 けですが、今までの経験を踏まえ頑張り
 たいと思っております。

また、ご迷惑をお掛けいたしております
 した建物の耐震補強工事及び改修工事も
 四月末に終了し、安全で安心して利用で
 きる施設となっておりますことをご報告
 いたします。

終わりに、大代五区及び笠神地区など
 の地域住民の皆さんのために、利用しや
 すい公民館となるよう「奉仕の心」を忘
 れず、職員一同努力いたしますので、今
 後ともよろしくお願い申し上げます、就任の
 ご挨拶いたします。

○大代地区公民館では、四月一日から非
 常勤職員として岩井一雄が着任しており
 ます。前任者同様、大代の皆さまに一日
 も早く覚えていただけるように職務に専
 念していきたいと思っておりますのでご
 指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致しま
 す。

貞山運河周辺清掃のお知らせ

大代地区コミュニティ環境美化部

日時/五月二十四日(日)

午前六時から(一時間程度)

集合場所/大代地区公民館

雨天の場合は中止(小雨決行)
 手袋を持参して下さい。
 ゴミ拾い用のゴミ袋として、レジ袋を
 一人三枚持参の上参加願います。
 大代地区の皆様のご協力お願いします。

大代地区人口

行政区	世帯	男性	女性	男女合計
大代東区	339	492	507	999
大代中区	361	451	452	903
大代西区	316	455	443	898
大代北区	124	187	199	386
大代南区	625	852	865	1717
合計	1765	2437	2466	4903

平成21年 3月31日現在

大代の歩み (十四)

大代南 渡邊 巖

村の互助組織 (三)

前号の『若者掟定書』の伝統は維新後も続いたが、明治も後半になり漸く社会教育的意識が高まって台頭したのが青年団である。

青年団 団員それ自身の教育を目標に社会人としての育成を目的とした。

宮城郡には従来から各町村に青年の団体があつて、冬季農閑期を利用して教師を招いて文武を修練する習慣があつた。

大代では前記の若者衆中掟定書からの流れを引継いで大代青年契約会となり、同時に処女会・婦人会が誕生して社会教育の中核団体となつた。

宮城郡内では明治四二(一九〇二)年までには青年会・青年団などが五六団体(会員五二一五名)に達した。主たる事業は、学術補修・体育奨励である。

その中であつて大正二(一九一三)年に制定された普通教育奨励会規定により、大代青年団は成績優良により表彰の榮を得たのである。

大正四(一九一五)年九月、青年団改善の趣旨により、従来の組織を一変して、郡↓町村↓地区の系統に応じた青年団に改められ、宮城郡青年の大団体が結成さ

れた。多賀城の青年団もこの時に組織化され大正五(一九一六)年二月六日に結団した。

この活動も第二次世界大戦の経過により、殊に婦人会は『愛国婦人会』と改称して独自の活動を広めたが、終戦に伴う社会情勢の激変の為終息を余儀なくされた。

戦後となり、本格的な社会教育体制が整いだしたのは各地に地区公民館が設立されて以後のことで、更に行政による生涯学習活動の機運が醸成されて各地区公民館毎に独自の学習プログラム、体育系・文化系の各種サークル活動等に発展して現在に至っている。 続く

ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

小次郎かそれとも武蔵か 一騎打ち

どちらが勝つても 鯉轍泳ぐ

涙して言いたい事を 打ち明ける

大阪府知事の 度胸に拍手

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

新しき墓の戒名彼岸西風

弟の逝つた桜の項となり

花冷えの握手悲しき別かな

可憐さに誰が名づけし犬ふぐり

履き慣れし靴にやさしき春の土

笠神西 本郷 勝子

春浅き煌めく海に思い馳せ

咲き満ちて笑顔をおおうさくらかな

(福島県花見山)

ふる里へ心を深くしてさくらかな

風吹いて百の提灯夕ざくら

(二本松公園霞ヶ城あと)

子規と父同じ命日散るさくら

八幡 森 季子

春寒しテトラポットが湧く

旅一つではじめとして花見山

(福島花見山にて)

春うらら電線わたるいたちかな

ダム湖畔水にうつりし山笑ふ

醫王寺の参道ともし落椿

(福島)